

はちろうがた

2005年4月 83号

# 議会だより

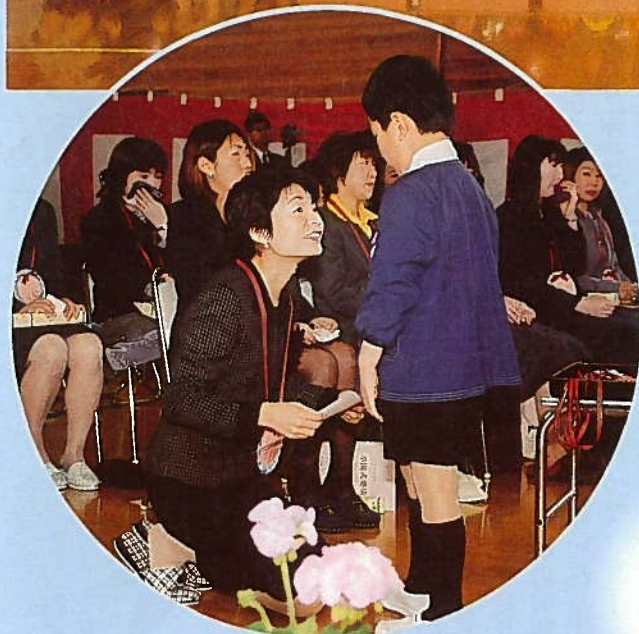
発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692

秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



- ◆ 2～3 ページ … 新議員の抱負
- ◆ 3～6 ページ …… 一般質問
- ◆ 7 ページ …… 請願・陳情
- ◆ 8 ページ …… 議会のうごき

# 新議員の抱負



議長  
長吉晴  
土橋

お陰様でこの度の町議  
改選にて六期目の当選を  
させて頂きました。又、  
初議会では議長という大  
任を仰せられ浅学非才で  
はありますが、町職員・  
議員併せて四十年の経験  
を基に、公平公正な議会  
運営に務めて参りたいと  
存じます。

三町合併が崩れ、単独  
立町として、厳しい行財  
政改革を進める訳であり  
ますが町民の要望には真  
摯に耳を傾け創意工夫に  
満ちた町民に信頼される  
町政実現の為に初心を忘  
れることなく一生懸命努  
力する覚悟であります。



副議長  
小野 廣

一般の改選にあたり町  
民各位の御支援に感謝申  
し上げます。現在の町行  
財政を鑑みる時非常に厳  
しい状況下にあります。が、  
我々議員初め当局と町民  
が英知を結集して住民サ  
ービスの向上に役立つ施  
策を探り、現状の難局を  
打破致したく努力する決  
意であります。

三町合併が崩れ、単独  
立町として、厳しい行財  
政改革を進める訳であり  
ますが町民の要望には真  
摯に耳を傾け創意工夫に  
満ちた町民に信頼される  
町政実現の為に初心を忘  
れることなく一生懸命努  
力する覚悟であります。



勝仕 菊地

## 一体感

本町も抱える課題の多  
い中、決して総花的でな  
く、今や住民の要望は多  
岐にわたっていますので  
予算や事業内容の必要性  
を充分説明し、最大限の  
議論を尽くす事が大切。  
町政進展には当局と議会  
及び議員間の一体感が必  
要です。特定の人間の圧  
力や権力に屈してはな  
りません。



菊夫 畠山

一議員として、三町合  
併に至らなかつた事への  
責任を感じております。  
先の見えない今、将来  
を見ずして正しく執行さ  
れているのか見落とすこ  
となく判断し、与えられ  
た立場を最大限に生かし  
次なる時代を創造してい  
きたいと思っております。

町民の代表として、再  
度議員活動が出来ること  
に対して、皆様に感謝申  
し上げます。人口減少、  
少子高齢化、国の三位一  
体の改革による財政の厳  
しさなど、諸問題に創意  
工夫をもって対処し、魅  
力のある町をつくるため、  
誠心誠意頑張ります。



一義 金

このたび、皆様方のご  
支援により当選できまし  
たことは、誠にありがた  
く存じております。我が  
町も自立を選択しました。  
この難局を皆様方の代弁  
者とし、町政に生かして  
行く所存です。「町民に温  
かく住みやすい、誇りの  
もてる八郎潟町」を創る  
ため、この四年間信念を  
持つて全力で頑張ります  
ので、よろしく願ひし  
ます。

今日までの議会で得た  
経験を生かし、単独立町  
の財政基盤を確立し、八  
郎潟町の伝統と文化を守  
り、将来を見据えた町づ  
くり、町民と一体とな  
り邁進する決意でありま  
す。



徹郎 齋藤



剛 村井

厳しい町政運営が予想  
される単独立町。誠意あ  
る対応が求められる。  
「百術一誠に如かず」  
を信条とし、常に初心を  
忘れず、町民との協働の  
もと、英知を結集し、難  
局を打開しなければなら  
ない。一層の御鞭撻御指  
導をお願い致します。

「対話と行動力」をモ  
ットーに町民の皆様の小  
さな声にも耳を傾けて町  
政に届けます。目指すは、  
子供達とのふれあいを大  
事にした社会教育の充実  
と老舗を生かした商店街  
の活性化。活力と潤いあ  
る町づくりのために誠心  
誠意尽力いたします。



留吉 三戸



小柳 勉

議席を与えていただき心から感謝いたします。

誇りうる「自立」から早期の合併推進を

「自立」が長くなれば、地方交付税の大幅削減で財政危機に直面する。町民のしあわせを守るため、条件が整う町と早期の合併を進めることが、任期中の課題。



近藤美喜雄

まさに激変の社会

改革に知恵を結集できない自治体は、町民に大きなツケを負わせることになりま。慌ただしさの中、町民の声を聞く姿勢を忘れてしまったとき町民と遊離した行政を進めていることになるのかもしれない。私達も積極的に提言していきます。

この町が小さくても輝いていられるために...



佐藤 長

この度の改選により議席を与えて戴き厚くお礼を申し上げます。地方自治を取り巻く状況は厳しさを増しております。議会の使命と役割を認識し、初心の誠を尽し町発展のため全智全能を傾注しますので倍旧の協力をお願い申し上げます。

席を上げて戴き厚くお礼を申し上げます。地方自治を取り巻く状況は厳しさを増しております。議会の使命と役割を認識し、初心の誠を尽し町発展のため全智全能を傾注しますので倍旧の協力をお願い申し上げます。

# 一 般 質 問

## 畠山菊夫 議員

### 17年度において町づくりの目標や施策、重点的に取り組む事業は何か

**問** 1月の町民座談会での合併しない場合の財政計画資料を見るかぎり、今後、依存的財源が大部分を占める本町としては、非常に苦しい財政運営を余儀なくされると思います。16年度の歳入31億円が26年度には20億円程度になり、収入確保と

しては、使用料・手数料の増額や18、19年度には財産売り払い収入も見通してありますが、いずれにもそれらを踏まえ17年度の予算編成を行ったものと思います。少ない予算で効率的にしかも成果をあげる為いろいろ工夫したと思

ますが、経費の削減も当然のことながら同時に大事なことな福祉・教育・産業、それぞれの分野で必要と思う事業は積極的に考えなければいけないと思います。

**問** 17年度において町づくりの目標や施策、重点的に取り組む事業は何か。

**答** 今年度の町づくりの目標としては、自立可能な行政運営の確立の一点に集約されると思っております。今「自立計画」を策定するにあたり、役場内に検討委員会を設置し、作業を進めています。

重点施策については、  
○町民体育館の改修工事等を含む、19年度開催の国体への準備  
○小学校の耐震調査実施  
○老朽化が著しい三倉鼻児童館改修の支援

○21年度完了を目指している公共下水道事業の推進  
○幼稚園での「預かり保育」を試行的に実施  
○町道中央線道路整備事業の施行

などを計画しており、福祉・教育・産業の後退にならない様に施策に努めます。

## 金 一 義 議員

### 今後の八郎潟町の行政のあり方について

**問** このたび八郎潟は井川町の合併離脱により、また五城目町との合併も当面取りやめることになり、いよいよ単独での町の行政をいかにするかが緊急の課題となっております。まだ町では自立のための、まちづくりビジョンと財政計画が示されておりませんが、早急に新行政改革大綱を策定するべきと、考えますが、各項目について町の考えを述べてください。

1 行政運営の効率化に付いてどのように考えているか。  
**答** 17年度の見直した事業は各施設の管理の合理化により人件費の削減、各種大会、式典の見直し、保守管理等また各種業務委託の競争入札による経費の削減をはかる。

2 財政運営の健全化  
**答** 町税等未納者対策については全職員挙げて取り組む、また上下水道の付加業務を一括化し徴収率をたかめる。各補助金を10%・20%の削減する。

3 組織、機構の見直しについて  
**答** 企画課を廃止し、町長部局六課にし今後特別の補充しない、平成21年には60人体制になる。

4 職員の定員と給与について  
**答** 4月から管理職手当てを5%カットし、今後係長以上の職務加算の見直しも考えている。

5 人材の育成と活力の発揮  
**答** 職員個々がやる気を起こさせ、自己啓発を促して行きたい。

6 情報化の推進による町民サービスの向上について  
**答** 今後可能な情報とし

てホームページによる行政、産業等に関する情報、教育、福祉、安心安全な情報、イントラネットの活用工夫また住民同士が話し合えるコミュニティ広場の設置等。

7 住民自治の充実のためにどのように行行政をすすめるか。

答 少子高齢化が今後益々進みこの対策にとりくみたい。また世代間のいろいろな場面での地域での協力を促したい。

### 震災を勘案した町並みの整備について

問 町並みには多くのブロック塀が存在していますが、これまでも地震で発生することにブロック塀が倒れて死傷者が多数発生しておりますが、外から見ても傾きかけ危険な塀も見えます。安全を図るためにもブロック塀の耐震診断をしてはどうか。

答 新しく設置の場合には行政から指導して行きたい。既存のものには安全を啓蒙していく。

## 伊藤秋雄議員

### 本町の行政改革大綱の見直しについて

問 町民が一番望んでいるのは、行政改革や町民に対してのサービスの向上、特別職の削減、職員意識改革、また事務効率化による削減と事務体制の組織の在り方、町民税や国民健康保険、その他特別会計の未納者対策の改革など本町の財政危機を乗り切るためには、大きな改革が必要だと思ふ。

答 我が町が自立して行くには内容が難しく困難が伴う。意識改革をし、お互いに融和の心が無いとできない。見直しについてはみなさんと相談しながら進めていきたい。全職員を一堂に集め、「職員のための町」ではなく、「町のための職員」としての自覚を持ち、身を粉にして、一丸となって働こうと訓示をした。

### 第5次計画「八郎潟町総合発展計画」策定について

問 道路交通網整備、23年に完成の方向で協議が進んでいる湖東病院建設の問題、自ら学ぶ意欲「生きる力」を培う教育の充実支援、高齢者などの生活支援、農業商工業振興と雇用機会の確保など、本町がかかえる課題は多いが、我が町の第5次長期計画（総合発展計画）の策定はどのようなになっているのか。

答 現在、自立計画検討委員会において協議が進められ、総合発展計画の草案をもとにしてすすめていく。18年度から始まるが、長くしないで5年、5年、で進めていく。職員の意識改革をしながら、この町をよくするために皆さんの希望を取り入れ、悔いのない町づくりをしていく。

### 学力低下にどう取り組む「ゆとり教育」の見直し

問 文部省は「ゆとり教育」による学力低下を懸念し、今度は学力テストを復活させ「学びの進め」を宣言し「世界一の学力取得」を目標にしている。完全五日制の実施で減った授業時間数の不足を取り戻すために導入された二期制を、本町の中学校では2年前から導入実施、小学校も4月から実施するが学力向上に向けての取りくみはどうか。また学力の二極化について

答 授業時間数は数学の場合140時間から80時間に減っているため授業時間を増やす意味でも2学期制を導入している。県では一人一人の学力に応じた指導をするために八郎潟町に一名の教員を配置し学級担任と組んできめ細やかな指導をしている。学力の二極化は今のところみられない。

## 近藤美喜雄議員

### 単独立町自立計画について

問 単独立町自立計画は町民生活の生命線、中・長期的にいかにか町の活力を確保できるかが町民最大の感心事、いかに民意を反映させ、慎重かつ大胆な改革型自立計画を樹立できるかが問われている。

答 現在、役場の自立計画検討委員会で3月下旬をめどに作業中、これを議会に提示し、意見をききながら、4月上旬開催予定の町内会長会議で計画の方向付け、今後のすすめ方について説明し理解してもらおうよう努めている、多くの町民から参加していただきたいと考えている。

### 平成17年度予算編成について

問 歴史的ともいえる自立町決断、その初年度の予算編成にあたり、従前の予算編成に対する考え方を制するために貫いた基本方針は、大胆に実施事業を見直し、必要な住民福祉、ライフライン関係予算の確保を。

答 予算編成にあたっては①経費の節減、②計画の縮小、③財政の体質改善を基本にしながら、今後は財源を確保するための方策を考えたい。特別職の報酬削減は町の現状を考えながら、町独自の考え方で実施するものである。予算総体額では3億9千万円、率にしておよそ13・2%の減額、地方交付税は前年並みを見ていくが、今後については10年間で30%減が予想され、基金の無くなる平成18年度の予算編成は大変厳しくなることが予想される。



# 村井 剛議員

## 町民の理解のもと、英知を 結集した自立を

**問** 厳しい財政運営が予想される単独立町とは言い、町政の停滞は許されない。町民の英知を結集し、創意と工夫のもと、長期展望をも見据えた自立計画の策定を望む。

**答** ① 次の項目を検討して、策定している。  
人件費、施設管理、公用車の管理、負担金、補助金、繰出金、手数料、使用料、事務事業、建設事業、組織機構、財産処分、町づくり構想等。  
② 町民の負担は、受益者負担を原則とする。  
幼稚園の授業料、保育料、下水道の使用料、各種証明書手数料、施設使用料、町有地賃付料等。  
③ 町内会長会議、町民座談会を通して理解を求め。  
④ アンケートの結果を

ふまえ対応する。

当面は自立となったが、3町を基本とした合併の仕組が、出来れば良いと思う。しかし、相手があるので、充分わきまえて、この3月31日にこだわらない合併を進めたい。

## 厳しい中でも、 地場産業の育成 に努力を

**問** 当面の自立による厳しい財政運営が、地場産業の低迷を引き起こす恐れがある。厳しい中でも、夢のある町づくりを、町民は求めており、その願いに当局は、答える責務がある。

① バリユー跡地へのカルチャーセンター建設で、振興を図ろうとした商店街の活性化策に、町としての今後の対応  
② 公共事業の発注は、地元企業優先で  
③ 「加工米手上げ方式」導入により、転作率1

00%達成が困難と思われるが、その対策は。

**答** ① カルチャーセンターのバリユー跡地への建設は、現時点に於いて財政上無理が有る。町民の理解も得られない。今後、財政的に余裕が出た時点で考えたい。

商店街の振興には、商工振興事業、商工会街灯料、後継者育成支援事業、商品券発行事業等で支援して来た。今後は、湖東三町商工会の合併をふまへながらも、充分協議をしながら進める。

② 町の事業推進にあたっては、地元優先の方針で進める。億単位の大きな事業では、町外業者の時もあると思うが、町の工事は、全て町内業者にやらせたいと思っている。

③ 現在47ha不足している。面積の未達成分は、次年度に繰越される。又、転作助成金は減額され、次年度もその額となる。産地づくり交付金は、特に指示がないので、交付されなければ大変である。転作100%達成に、是非とも御協力願う。

## 菊地 勝 議員

### 新年度の重点施策は

**答** 新年度の重点施策というところでございますが、一般会計の基金残高が1,600万円ほどとなり、この状況では平成18年度の予算編成が出来なくなるといっておそれもあります。したがって、平成17年度中に事務事業の抜本的な見直しと機構改革による人件費の削減、補助金などの見直しなど、あらゆる分野での経費を

削減する必要があると思えます。また、財源確保のため、町税などの未納対策、各種使用料・手数料などの引き上げ、遊休資産の処分など早急に対応する必要があると考えられます。

職員管理については、今後5カ年、退職者を補充しないで平成21年、向こう5年間で60人体制といたします。三役につ

いても報酬審議会の答申どおり減額し、三役については、任期の問題もありませんので、今後検討したいと思えます。

## 湖岸開発事業計画について

**答** 湖岸開発事業でございますが、これは皆さんにもいろいろお願いして、そして湖岸開発をしようというようなわけで計画も立てました。かの新町まちづくり計画の一番の目玉として私も取り上げ、三町でもそれを認め、10億6千万円の予算を受けるといふことを確約しておいた矢先、合併がこのように出来なくなり、自立になるといふと、それを全部私たちの町で背負うといふことは、これは不可能なことでございます。だからといってそのままにしておくわけにはいかないのです、財政をこの後も考え、やるにいいところから、まだあそこの用地で解決していかない問題、田んぼの購入とか色々ありますが、出来る限りの努力をしていきたいと、近づきたいと思

## ミニ焼却炉について

**答** 17年2月までの稼働日数のことが今問われましたけれども、稼働日数は1月17日、2月8日、2月18日、2月28日のパッカー車4台の受け入れもしております。会社側も冬期間の溶融炉の温度が上昇せず、これまでをみる事が出来なかった。というのは、今年はこのほかマイナスの温度になりましたので、冷却の装置が出来ないような状態です。周りが冷たいものから、思う存分に温度が上がり、これが大きな原因であったのです。4月からは町とごみの運搬計画を協議の上、毎週月曜日・火曜日・木曜日・金曜日にパッカー車一台を受け入れる予定としております。

町有地賃借料のことでございますが、増になった部分も3月31日までの契約でございますので、納入済みでございます。

### 商店街空洞化対策は

**答** 共通商品券のことをお話がありました。14年度・15年度・16年度で3年間という約束で実施したのです。今、どのくらいの効果があったというようなことは、ここで教えることは私申し上げられませんが、いざれにしても、完成したということになるという、非常に消費者には喜ばれていることは確かでございます。これからどうするかという事については、湖東三町商工会との話し合いで、これは単独で町が実施するということは出来ない。三町で協議しながら、地域の要望がくるものとしておりますが、いざれにしても五城目町・井川町との連携のもとに、出来る限りの支援をしていきたいと思っております。空洞化対策の取り組みについては提案ありました「中心市街地活性化法」を充分検討します。

### 少子化対策について

**答** 少子化対策や子育て支援でございます。何といたしても町としては、その子育ての出来る環境を整え、そして安心して子育てが出来るといようなことが私たちに課せられた大きな問題であると思っております。

17年度の新しい施策としては、幼稚園の預かり保育の試行、これも町政報告のところで話します。

## 小柳 勉 議員

### 町民・議会の合意形成のもとに、「自立計画」の策定を

**問** 町民の皆様との合意形成、議員の合意形成のもとに、自信と、誇りのもてる「自立計画」策定が急務と思うが、具体的な計画を問う。

多くの町民の合意形成のため、「町行政改革町民会議」などを設置し、昨年12月閣議決定の「今後の行政改革の指針」を参考に、新たな「行政改革大綱」を策定すべきで

ましたけれども、4歳・5歳・3歳児は入りません。4歳児と5歳児を午後4時まで、一応延長の形で幼稚園に預かりまして、そしてそこで預かり保育をやるというようなことでございます。いくらかでも保護者の経済的負担を軽減しながら進めてまいりたいと思っております。

ある。

**答** 町職員（課長補佐・係長等）による「自立計画検討委員会」で3月中旬「自立計画素案」を策定する。

4月上旬県へ提出し、指導を受け、議会と協議の上、4月下旬町内会長会議を開き、その後、「町民座談会」を開く計画である。町民の提案も取り入れて参りたい。

### 条件が整っていない町との早期合併が必要と思うが

**問** 当面自立しても、地方交付税の大幅な減額で町財政は危機を迎えると思う。条件が整っている町と早期の合併が、町政の最大の課題と思うが、ご見解を問う。

平成12年度16億6千万円交付されていた地方交付税が毎年1億2千万円減され、16年度11億7千500万に減少。

合併しないと、10年間にさらに30%も削減される。町財政は重大な危機を迎える。

町民のしあわせを守るためにも早期の合併が必要である。

**答** 地方交付税が4年間で5億円近く削減され、新年度予算編成で財源不足から、基金から2億4千200万円繰入れ、基金残額はわずか1、600万円で、正に財政は危機的状況である。歳出削減にも限界があり、積極的な財源確保が必要である。

そのため、町有地の売却、税金の未納対策、受益者負担の見直し（手数料、負担金の増額）なども避けられない。

当面自立しても、長くなれば財政はもたない。相手のあることであるが、三町を基本とした「合併協議」が再開されることを期待している。

### 新たな「町総合発展計画」の策定と内容は

**問** 新たな「町総合発展計画」の策定を急ぐ必要があると思うが、具体的な計画を問う。

三町の合併協議で「町づくり計画」に盛り込まれた本町の夢のある主要プロジェクト「水道整備事業」「町営住宅代替事業」「町道整備事業」「八郎潟小学校大規模改修」「役場庁舎改修、図書館併設事業」「湖岸開発事業」など、合併特例債で25億9千万円を充てる計画であったが、自立の場合、財源不足で実現の可能性が至難でないか、見直しの上、新たな「総合発展計画」に生かすのか。

**答** 単独立町になるので、合併の場合の「町づくり計画」の主要事業は、見直しが必要であり、財政事情を勘案しながら、計画を縮小してでも実現の可能性を模索して参りたい。

### 小・中一貫校の推進を

**問** 児童、生徒の学力向上のため、小、中一貫校の推進を。

**答** 現行の学校教育法では、小、中一貫校は認められない。東京品川区の日野中学校は、文部科学省指定校で、研究開発条件が整っていないければ指定されない。本町がすぐに一貫校設置に取組むのは無理である。

研究成果がでて、学力向上や、心の教育等に効果があがり、一貫校創設の条件が緩やかになれば、施設や、カリキュラム、人的な教育環境を整えば、一貫校設置を検討したい。



# 審議委員会

## 総務教育常任委員会

**問** 一般質問の答弁のなかで、町長は町税等の未納対策として、全職員あげの徴収体制をと言っているが具体的にはどうか。  
**答** 今後、具体的に検討してまいります。

**問** 町民体育祭の予算がかなり減額になっているが、内容はどうか。  
**答** 主に賞品にかかわる減額です。予定でありますが、各町内会への参加賞と総合上位の賞品は考えていますが、種目別競技の賞品は考えていません。

## 民生産業常任委員会

**問** 国民健康保険税、介護保険料とも未納者及び滞納者が増加傾向にある。改善策を検討して欲しい。  
**答** 効果があるよう徴収方法を検討していきたい。

## 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情書	日本国家公務員労働組合連合会 中央執行委員長 堀口 士郎	総務教育	不採択
安心して子どもを生み育てていけるように現在の乳幼児医療費助成制度の維持を求める陳情書	乳幼児医療費助成制度の維持を求めるネットワーク 代表委員 吉田 慶子 相場 未来子 渡辺 淳子 渡部 雅子	民生産業	採 択
八郎湖の水質改善についての要望書	新しい秋田を考えるフリーの会 会長 宮田 正 旭	民生産業	採 択
「乳幼児医療費無料制度」に自己負担を導入せず現行制度の継続を求める陳情書	新日本婦人の会秋田県本部 代表委員 地主 あや子	民生産業	採 択
住民の生活と地域経済を悪化させる公務員賃金の「地域給」反対を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 秋田県公務員共闘会議 議長 佐藤 憲 雄	総務教育	不採択
公共サービスの低下をもたらす「市場化テスト」(官民競争入札)の反対を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 秋田県公務員共闘会議 議長 佐藤 憲 雄	総務教育	不採択
確実な税源移譲、交付税の拡充による自治体財政の確立、公務・公共業務を後退させる「市場化テスト」反対、地域経済等に悪影響を及ぼす「給与見直し」に反対することを求める陳情書	日本自治体労働組合連合 秋田県本部 中央執行委員長 伊勢 孝 志	総務教育	不採択
地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 柏谷 武志 秋田県中央地域労働組合総連合 議長 村上 政 基	総務教育	採 択

**問** 川口地区に建設中の一般廃棄物焼却炉設置の許可権者は。  
 16年4月に町と契約し、ただちに処理業務を開始するとしているが、いまだに稼働していない理由はなにか、契約書の15条、18条に抵触しているのではないか。文書で回答してもらいたい。

**答** へ設置業者を委員会に出席してもらって直接たざした。  
 同施設は法律、同施行令による許可を必要としない施設である。(1日当り処理能力5t未満)但し、炉の温度、ダイオキシンの排出などは基準をクリアしなければ県の確認審査は得られず、稼働

できない。  
 県の設置許可は必要としないが、届出は必要であった。7月に届出した。施設はほぼ完成しているが、炉の温度が確保できないため稼働していない。炉に結露が発生したりしている。

原因を早く改善し、出来るだけ早く稼働するよう努力している。正常運転出来ない今の状況については、すみやかに文書で提出する。契約書にあるように、ただちに運転できなかったことは大変申し訳なく思っている。稼働は17年4月を予定している。

〔書面回答〕 炉本体、付帯設備の取付と、ダイオキシン、ばい煙、排水対策などの調整試験に5〜6カ月、県への届出に伴い60日間の作業中止などもあつて、町との契約どおりの業務開始は不可能であつたことが文書で明らかとなつた。現在鋭意調整中であり、4月1日からは正常運転する。以上の確約を得た。



3月定例議会の様子

## 地方自治功労表彰

去る2月9日、全国町村議会  
議長会第56回定期総会があり、  
本町の小柳勲議員が町村議会議  
員15年以上の全国町村議会議長  
表彰を受けております。  
今後、益々のご活躍を期待い  
たします。



十八日の議会終了後、  
土橋助役、北島収入役、  
千田総務課長の三人が、  
三月末日をもって退職す  
る旨、報告があった。土  
橋助役の「要」であった  
だけに、惜しまれる。  
又、二十日には、三戸

進む(合併)も大変、  
留まる(自立)も大変と  
言う中で決定された単独  
立町。町民の英知の結集  
が、何より大切である。  
改選以来、初めての議  
会。それぞれが、町に思  
いを馳せながら、七人も  
の一般質問が繰り広げら  
れた。町の厳しい財政事  
情を反映し、当局の苦し  
い答弁に、その実感がひ  
しひと伝わってくる。  
十八日の議会終了後、  
土橋助役、北島収入役、  
千田総務課長の三人が、  
三月末日をもって退職す  
る旨、報告があった。土  
橋助役の「要」であった  
だけに、惜しまれる。  
又、二十日には、三戸

### 編集後記

福祉保健課長の計報に接  
する。有能な人であった  
だけに、惜しまれる。心  
からの御冥福を、お祈り  
申し上げます。合掌

- 初めての広報編集。一  
同未熟ではありますが、  
みんなでつくる広報をモ  
ットーにがんばりたい。  
どうか、よろしく御鞭撻  
御指導の程、お願い申し  
あげます。
- 広報編集委員  
委員長 村井 剛  
副委員長 近藤美喜雄  
委員 伊藤 秋雄  
          土橋 吉晴  
          小野 廣



## 議会のうごき (17年)

- 1月4日 八郎潟町消防団出初め式「改善センター」
- 5日 八郎潟町2町合併町民アンケート調査説明  
会「町内4カ所」
- 6日 八郎潟町商工会賀詞交歓会「商工会館」
- 7日 湖東消防出初め式(井川町)
- 14日 議会全員協議会
- 15日 グランドゴルフ協会総会「ロマンの里」
- 20日 議会運営委員会
- 20日 秋田県議会議長会役員会(秋田市)
- 24日 第1回 臨時会
- 27日 湖東3町商工会合併調印式(五城目町)
- 31日 湖東病院改築推進協議会(五城目町)
- 2月1日 合同厄払い・還暦祝い「改善センター」
- 6日 町議会議員選挙投票日
- 12日 体育協会スポーツ賞授与式「改善センター」
- 18日 第55回秋田県議長会総会(秋田市)
- 20日 八郎潟町建設技能組合総会(八郎潟町)
- 23日 第2回 臨時会
- 3月2日 議会運営委員会
- 2日 議会広報編集委員会
- 3日 南秋田郡議会議長会臨時総会(昭和町)
- 5日 昭和町閉町式(昭和町)
- 8日~18日 3月定例会
- 11日 八郎潟中学校卒業式
- 16日 八郎潟幼稚園卒園式
- 17日 八郎潟小学校卒業式
- 17日 議会広報編集委員会
- 21日 八郎潟町婦人会総会「改善センター」
- 23日 八郎潟町商工会解散式「商工会館」
- 24日 議会全員協議会
- 28日 八郎潟中学校離任教諭議会あいさつ
- 30日 八郎潟小学校離任教諭議会あいさつ